

文化庁説明資料

平成29年度予定額 15,993千円
(平成28年度予算額 15,966千円)

「ロケーションに係るデータベースの運営」

【概要・実績】

全国各地域のフィルムコミッション(略称:FC)が保有・蓄積している情報を「全国ロケーションデータベース」に集約し、日本国内はもとより、海外に向けての情報提供を行うことで、日本の魅力あるロケーションを発信し、日本国内における映画撮影の促進及び日本映画の創造活動の活性化を図ることを目的とする。

①システム(英語版あり)

地域・カテゴリー・時代別等、全国各地のロケ地情報を一括検索出来るとともに、担当となるフィルムコミッションの連絡先を紹介。
(参考)

- ・ロケ地情報データ登録件数:6,055件(平成27年度末現在)
- ・アクセス件数:87,518件(平成27年度末現在)

②利用促進業務

データベースの利用を促進するため、以下を実施。

- 登録情報の補完・編集、登録作業の指導により、各FCの登録をサポート
- データベースや登録に関する周知促進・意見集約

・ロケ撮影の促進強化における改善・検討点

①国際共同製作映画支援への強化

- ・複数年にわたる映画製作支援が可能となるよう、柔軟な対応改善を図る。
- ・国際共同制作経費3億円以上の案件について特別製作映画枠の追加(従来5千万円→1億円)。

②ロケ撮影の促進における基盤体制強化や継続的な人材育成への支援の検討



【全国ロケーションデータベース】